

「コロナ禍でのボランティア体験プログラム 2021」に参加希望される皆さまへ

令和3年8月20日 大阪府ボランティア・市民活動センター

新型コロナウイルスの影響下でのボランティア体験について

昨年度はコロナ禍の影響で「夏のボランティア体験プログラム」を中止しましたが、令和3年度は、新しい生活様式のもと、3密を避け可能な限り新型コロナウイルス感染予防策をとりながら、また感染リスクの少ないリモート形式や在宅でのボランティアなど、新たな工夫によるプログラム等を実施している社協について、本ページの「プログラム概要」でご案内しています。

コロナでも何かできることで、誰もが誰かのために、やさしさを届け、地域を『ありがとう』でいっぱいになったらと、そんな思いで「コロナ禍でのボランティア体験プログラム 2021」がスタートしました。

参加を希望される皆さまには、コロナの状況下でも、ボランティア体験活動を安全に、充実した体験としていただくために、活動に際しては下記にご配慮のうえご参加をお願いいたします。

※8月2日から9月12日まで、大阪府内全域に緊急事態措置が発令され、各社協プログラムに中止や変更がある場合があります。体験希望される場合は、直接該当社協ボランティアセンターにご確認をお願いします。

◆活動プログラム内容を確認しましょう。

対面でのボランティア活動や、在宅でできる活動、リモートでの活動など、さまざまな形式があります。またどんな内容の活動をするのか、心配なことや気になる点があれば、各実施社協ボランティアセンターへお気軽にお問合せください。

◆活動に際しては、感染予防のため、定められたルールを守りましょう。

マスクの着用、手洗い、消毒の励行とともに、活動先のルールを守って活動してください。活動の安心、安全は、コロナ感染予防策やルールをみんなが共有することから始まります。また、ボランティア活動中の万一の事故に備え、ボランティア保険があります。ボランティア活動にかかる保険加入について、体験申込時に確認しておきましょう。

◆検温や体調不良に注意し、迷わずに活動先に相談しましょう。

コロナ禍では、自分だけでなく周辺の感染状況も感染リスクとなる可能性があります。日ごろから参加者ご自身の体調確認とともに、活動参加前にいつもと何か異なるような違和感があったり、少しでも心配な点があるときは、ボランティアセンターに連絡を行い、活動は控えましょう。

体験申込み後の活動中止や、参加できない場合に備えて、連絡方法（TEL やメール等）を確認し、双方向の連絡が可能ないようにしておきましょう。

また、ボランティア活動後の体調不良や身近な人に感染が判明した等の場合も、活動先のボランティアセンターへ必ず連絡するようにしましょう。

◆新型コロナ受診相談窓口はこちらへ。

[大阪府／新型コロナウイルス感染症の発生に伴う電話相談窓口について \(osaka.lg.jp\)](https://www.osaka.lg.jp)

